129	山中謙二	航海者エンリケの航海奨励について	『思想』	第273号	1946	697
130	山本禎夫	インテリゲンチアの社会学と社会学のインテリゲンチアーマンハイムのイデオロギー論批判ー	『思想』	第104号	1931	697
131	児山敬一	（回顧と展望）短歌革命の立場	『思想』	第95号	1930	697
132	寺田正二	亡父の想ひ出	『思想』	第166号	1936	697
133	寺田弥吉	富永仲基の歴史法に就て	『思想』	第144号	1934	697
134		仲基が三物五類立言之紀ー併せて加上法との関係ー	『思想』	第155号	1935	
135	寺島一夫	明治前期における科学の体系的発展の特質	『思想』	第144号	1934	697
136		（紹介と検討）野呂栄太郎著『日本資本主義発達史』	『思想』	第96号	1930	
137		（問題と批判）マルクス主義『自然科学論』ー本荘可宗氏を駁すー	『思想』	第97号	1930	
138	篠田英	一つの経験	『思想』	第25号	1923	697
139	舟木重信	ゲーテの『ゲッツ』と『ドイツ農民戦争』に関する現代戯曲	『思想』	第118号	1932	697
140	住吉喬六	（随想随筆）ストリンドベルクの「教師」論	『思想』	第83号	1929	697
141		（随想随筆）アリストテレスの欠伸論	『思想』	第84号	1929	
142	小宮義孝	中国の科学その歴史的展望	『思想』	第274号	1947	697
143		抗戦前後の中国の科学とその将来	『思想』	第275号	1947	
144	小池基之	農業恐慌・農村恐慌・農業危機	『思想』	第292号	1948	697
145	小竹豊治	インド文明とセイロン	『思想』	第245号	1942	697
146	小島威彦	（回顧と展望）弁証法の世界	『思想』	第97号	1930	697
147		東洋と西洋	『思想』	第197号	1938	
148	小島軍造	民族と道徳	『思想』	第203号	1939	697
149	小島登美	（回顧と展望）新興短歌断想	『思想』	第95号	1930	697
150	松井圭子	ロマンチシズムの社会的根拠	『思想』	第107号	1931	697
151	松浦一	ダーヴィン以後	『思想』	第44号	1925	697
152		ダーウィン以後（完）	『思想』	第45号	1925	
153		種の概念とその安定性	『思想』	第48号	1925	
154		生物進化上に於ける淘汰の意義	『思想』	第64号	1927	
155	松本正夫	西洋の基本的伝統文化継承の問題	『思想』	第293号	1948	697
156	松村克己	日本基督教団成立の意義とその課題	『思想』	第235号	1921	697
157	上野直昭	ヰルヘルム・ヴントの思ひ出の記	『思想』	第３号	1921	697
158		ヰルヘルム・ヴントの思ひ出の記	『思想』	第４号	1921	
159		ヰルヘルム・ヴントの思ひ出の記	『思想』	第５号	1921	
160		元良先生10年忌（個人的の想ひ出）	『思想』	第17号	1921	
161		日本国宝全集の発刊	『思想』	第18号	1921	
162		絵巻物について	『思想』	第19号	1921	
163		おもひで	『思想』	第23号	1922	
164		絵巻物に就いて餓鬼双紙考察	『思想』	第28号	1924	
165		ゲオルグ・ブランデスの講演「今日の欧羅巴」	『思想』	第44号	1925	
166		デルフィよりオリムピア迄（希臘旅行の一節）	『思想』	第133号	1933	
167	森山啓	漱石についての小感	『思想』	第162号	1935	697
168	森島恒	（問題と批判）日本に於ける奴隷経済時代の所在ー滝川政次郎氏と板橋倫行氏との論争に対してー	『思想』	第102号	1930	697
169		日本に於ける奴隷経済時代の所在に関して滝川政次郎氏の駁論に答ふー「玉虫厨子は奴隷膏血の象徴に非ず」に対してー	『思想』	第105号	1931	
170	神原泰	未来派の勝利	『思想』	第７号	1921	697
171		未来派の勝利(2)	『思想』	第８号	1921	
172		未来派の勝利(3)	『思想』	第９号	1921	
173		未来派の勝利(4)	『思想』	第10号	1921	
174	菅円吉	日本に於ける基督教の現勢	『思想』	第149号	1934	697
175		基督教に於ける道徳の問題	『思想』	第203号	1939	
176	世良寿男	ブレンターノに於ける道徳的認識の起源に関する問題	『思想』	第37号	1924	697